

## プランに関する御意見

第 1 回 「食育推進部会」「身体活動・運動推進部会」「口腔保健部会」（8月17日）  
第 1 回 「たばこ対策推進部会」「適正飲酒推進部会」（8月18日）  
第 1 回 京都市民健康づくり推進会議（9月13日）

- 京都市の女性の健康寿命は低いという結果であるが、介護保険の認定率や平均寿命など、様々な観点で評価をしたほうがよい。
- 若年層に運動習慣が浸透していない。若い方へのアプローチが必要。
- ライフステージにおける 20 代女性のやせ、40 代男性の肥満は課題である。大学保健や産業保健などとの連携も重要。
- 食育においては、幼少期からしっかりと食することが重要。
- 食への関心は健康への関心につながる。京料理が国の登録無形文化財となったことも踏まえて、関心を高めていくことが必要。
- 文化庁の移転や京都の食文化などを活かして、おいしく食べるという視点を大事にしたい。
- 3 歳児ごろからむし歯が増えていく。歯みがき習慣を身に付けておく必要がある。
- コロナ禍でがん検診の受診が控えられており、課題である。
- 歯科健診も同様に、受診が控えられている。健診を控えることによるマイナスの側面を訴える必要がある。各健（検）診を合わせて紹介することも効果的ではないか。
- プラン取組方針 1 の代表例 1 の中で、望まない受動喫煙をなくすというメッセージを入れてほしい。

- 食育については、食べるだけでなく、地産地消やフードロスの観点も重要である。
- 国の計画（健康日本21（第三次））の中でも、食塩摂取量の減少が掲げられており、減塩についても記載してほしい。
- 京都市が推進する「プラスせんぼ」は、更に広めていくべき取組であると思う。周知する際には、せんぼの具体的なイメージがわかるように記載してほしい。
- 健康無関心層に対しての取組が重要である。例えば、かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことを啓発できないか。
- 最近では、加熱式たばこ等の新型たばこが多く流通している。新型たばこについて、啓発できないか。
- 睡眠についても、国の計画（健康日本21（第三次））の中で強調されている。睡眠・休養という観点も必要である。
- 8020運動（80歳になっても20本以上自分の歯を保とう）の推進により、残っている歯の本数に着目されがちであるが、更に噛み合っているなど機能面も重要である。
- 若い世代の朝食の摂取率が低いところが気になっている。忙しい世代でもあるため、どうしたら朝食を食べるのか難しい課題である。